

1 実施概要

意見募集 期間	平成30年5月1日～6月15日
意見提出方法	郵送、電子メール、ファクシミリ
素案の公表場所	都筑区都筑土木事務所ホームページ 都筑区都筑土木事務所
素案配布場所	都筑区都筑土木事務所

2 実施結果

提出者	9名
提出方法	・メール (7件) ・持参 (2件)
素案配布場所	都筑区都筑土木事務所

3 提案されたご意見とご意見に対する本市の考え方

(1) ガイドラインの考え方についてのご意見やご提案	No. 1～11
(2) ガイドライン策定の進め方や今後の市民参加のまちづくりについてのご意見やご提案	No. 12～19
(3) 具体的な仕様についてのご意見やご要望	No. 20～34

※同趣旨のご意見については事務局の方でまとめさせていただいております。

(1) ガイドラインの考え方についてのご意見やご提案

NO.	意見の概要	意見に対する考え方
1	緑道が、区民にとってどのような位置づけにあるのかを明確にし、再整備に取り組んでいく必要がある。	今後、(案)を策定する際の参考にさせていただきます。
2	過去の経緯や当初の設計思想について記載してほしい。	過去の経緯や当初の設計思想について記載します。(素案P.5)
3	当初の設計思想を維持して再整備を行ってほしい。	当初の緑道の設計思想を最大限尊重しつつ、変化する社会情勢に対応した再整備を行います。(素案P.5)
4	当初の工夫された景観を復活させてほしい。	
5	当初の整備水準・使用は高価であり、現在・未来まで引き継ぐことは困難だが、先代の理念やデザイン意図を引き継いでほしい。	
6	当初の理念やデザイン意図、センスを引き継いでほしい。次世代に指示されるデザインを後世に伝えてほしい。	
7	ゾーニングとそれに応じた市民参加のまちづくりを掲げていることは評価できる。	生活動線としての利用強度に基づくゾーニングを行います。(素案P.7)
8	生活動線としての利用強度が同じゾーンであっても、合理的な配慮を必要とする利用者の割合などを考慮する必要がある。	今後、(案)を策定する際の参考にさせていただきます。
9	再整備の実施の結果をフィードバックする記述をするべき。	工事完了後の現場検証会など、次回の工事へのフィードバックの仕組みを定めます。(素案P.10)
10	土木事務所が提示したフィードバックプロセスは非常に大事なことでと思いました。	
11	ヒトの視点からしか物事が語られていないような気がする。生物多様性の役割なども改めて周知するべき。	今後、(案)を策定する際の参考にさせていただきます。

(2) ガイドライン策定の進め方や今後の市民参加のまちづくりについてのご意見やご提案

NO.	意見の概要	意見に対する考え方
1 2	今後の具体的な仕様や手法や・方策などの決定する際は、より多くの時間・期間をかけて市民意見募集を行う必要がある。	(案)の作成にあたっては、意見交換会、現地見学会を行うとともに、十分な意見募集期間を設けます。
1 3	施工業者まかせではなく、工事の工程の一部を住民が参加することを検討してほしい。	今後、(案)を策定する際の参考にさせていただきます。
1 4	民間企業や学校等に呼びかけ、協働・事業化できる部分を探る会議を行ってほしい。	
1 5	緑道に関わりがある人たちの顔が見える場が必要です。民有緑地の管理者・行政・愛護会が集まれる会議等があればよいと思います。	
1 6	地元と愛護会に若い世代の考えも取り入れる方向性を示してほしい	
1 7	緑道が公園であることを長い期間かけて、機会があるごとに啓発していくことが必要である。	
1 8	学校の先生にも緑道が公園であること十分理解してもらい、学校教育からも啓発のアプローチをする必要がある。	引き続き、学校や警察等関連機関連携し啓発活動を行っていきます。
1 9	路面ステッカーや看板で自転車のゆっくり走行や、押し歩き等を示しているが学校や子供達に対してもっと啓発活動を増やしていったほうがよい。	

(3) 具体的な仕様についてのご意見やご要望

NO.	意見の概要	意見に対する考え方
2 0	園路の幅が十分に確保できる箇所は、人が通る道と自転車を完全分離してほしい。	平成 27 年度に策定した自転車歩行者安全計画に基づき、「ゆるやかな歩車分離」による取り組みを進めます。
2 1	歩行者と自転車のゆるやかな分離を行ってほしい。	
2 2	緑道が生活道路となっている部分については、路面をはっきりとしたカラー表示の通行帯とし、自転車が走る道との区別を明確につけたほうが良いと思う。	
2 3	緑道内に自転車専用道路のようなものを検討してほしい。	
2 4	水量の変化に対応する排水設備を設置してほしい。	
2 5	水たまり等は舗装で対応するのではなく飛び石のようなものでも対応が可能である。	今後、(案)を策定する際の参考にさせていただきます。
2 6	再利用できる資材は積極的に活用してほしい。	
2 7	園路灯のLED化で、省エネ化とともに明るくなったが、とてもまぶしく感じられる。生活道路になっていない部分の照度を落としてもよいと思う。	
2 8	看板等に日本語の表記がなく、訪日外国人がわからないと思う。	
2 9	緑道の広報や周知をもっと行った方がよい。	
3 0	日照不足による苔の繁殖を放置しないできちんと管理を行ってほしい。	

3 1	日照が不足し、白河石に苔が生えてしまう個所付近には苔を落とすブラシを配布したほうがよい。	
3 2	緑道利用者の用途別の路線という考え方もあると思う。標準仕様書という観点から離れて再整備で使用する素材研究してほしい。	
3 3	使われ方による多様な舗装仕様をガイドラインに盛り込んだ方がよい。	
3 4	破損した石畳み舗装を黒アスファルト等で埋める対処療法的な修繕の考え方は捨ててほしい。	